

| 科目コード | 授業科目名 | 単位数・学期 | 受講年次 | 授業区分 | 担当教員名 |
|------------------|------------------|-----------|------|------|-------|
| 12019 (12019) | 琉球沖縄史A (琉球史A) | 2単位 前期 | 1~4 | 講義 | 麻生 伸一 |

■テーマ 琉球・沖縄史から今の沖縄を考える

■授業の概要

本講義では、ものごとを批判的に捉え、多角的・多面的に見つめることを琉球沖縄史の研究成果に基づいて概説します。この講義では、政治史や外交史、社会史、民衆史などさまざまな角度から琉球の歴史を掘り下げ、近代以前の琉球沖縄に住む人びとの歴史的経験を説明する。ただし、いわゆる通史ではなく、琉球沖縄の特質を示す個別テーマを採り上げ、「沖縄」「日本」「東アジア」「国家」「民族」を考えます。また、他の受講生とのコミュニケーションを取りながら、自身の考えを論理的に構築することをめざします。なお、講義中は指名して意見を求めます（けっこうあてるとは思います）。

■到達目標

- ・沖縄の歴史に関する基礎的な知識を習得する。
- ・現在の沖縄が置かれた立ち位置を歴史的な文脈で理解する。

■授業計画・方法

1. ガイダンス
2. 伊波普猷と「琉球」
3. 首里を歩く：首里巡検
4. 沖縄人（琉球人）はどこからきたか？
5. 古琉球の外交と社会
6. 書状から近世琉球を考える
7. 誓約書から近世琉球を考える
8. 琉球国王と東アジア：図像にみる権威と権力
9. 国王即位から近世琉球を考える
10. 暦（カレンダー）から近世琉球を考える
11. 祖先崇拜から近世琉球を考える
12. 自然災害から近世琉球を考える
13. シヤーマンから近世琉球を考える
14. 民衆統制から近世琉球を考える
15. 蔡温から近世琉球を考える

定期試験は実施しない

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・レポート（課題論文の論評／博物館見学の感想文、それぞれ1200字程度）の作成を求めます。

■成績評価の方法・基準

- 方法 レポート（2回／70%）と平常点（リアクションペーパー、講義への参加度／30%）で評価します。
- 基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価します。

■教科書・参考文献（資料）等

□参考文献

- 高良倉吉『琉球王国』（岩波新書、1993）
- 豊見山和行（編）『琉球・沖縄史の世界（日本の同時代史18）』（吉川弘文館、2003）
- 安里進ほか『県史4 7 沖縄県の歴史』（山川出版社、2004）